

本年度の重点に対する評価

本年度の重点	1	自分の想いをもち、伝え合う子の育成
目標（評価規準）	<自分を大切に、同じように、他の人も大切に>意識・態度の育成	
重点に係る現状 設定理由	本校児童は、素直で、優しく、おだやかな子が多い。また、協力的・協働的で、物事に一生懸命取り組むことができる。ただ、自分に自信がなく、やや主体性に欠けることや、相手の想いを想像して行動することに課題がある。一人ひとりが大切にされ、互いを認め合う学校・学級づくりを行い、児童が自己肯定感、自己有用感を高め、自他を大切にすることを育成していきたい。	

評価資料	評価
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	<p>・【豊かな心】「自分を大切に、同じように、他の人も大切に」する子が、育成されている。」という項目では80%の教職員が「そう思う」「ややそう思う」と肯定的な評価をしており、概ね、重点を意識した教育活動が行えていると思われる。しかし、20%の教職員が「あまりそう思わない」と回答している。日々の学校生活の中で、相手を尊重していないと感じる児童の言動が気になる場面が多々あったからだと思う。</p> <p>・「子どもの発達に応じて、個に応じた指導や支援がなされている」「学習面・生活面における職員の指導体制は充実している」という項目では、約88%、「安心・安全を守るため、安全教育・防災教育・いじめ・不登校の未然防止対策等を行っている」の項目では100%の教職員が「そう思う」「ややそう思う」と評価している。本年度の重点を意識した学校運営が行えていると思われる。</p>
各アンケート等の結果	<p>・児童は「自分を大切に、同じように、他の人も大切に」するようにしている。」という質問項目には、約94%が「そう思う」「ややそう思う」と回答しているため、概ね自分の良さ、友達や周りの人の良さや多様性を認めようとする意識が高まっていると感じる。</p> <p>・保護者アンケートでは、【豊かな心】「自分を大切に、同じように、他の人も大切に」する子が、育成されている。」という項目では約94%が「そう思う」「ややそう思う」と回答しているため、高く評価されている。「子どもは楽しく学校に通っている」という項目も、肯定的評価が約95%あった。</p>
自己評価結果 (見解と改善方策)	<p>・今年度の重点目標を教職員が意識し、行事や授業の中で、児童どうしの関わりを多くすることを意図的に組み入れることで、多様な価値観、互いの良さを認める力の育成を図っていた。来年度も、さらに【豊かな心】の育成を目指していきたい。</p> <p>・人権教育を基盤とし、授業や行事、教室掲示等を通して、認め合い、一人ひとりの居場所がある温かな学級・学年・学校づくりに努めた。「いじめ」や「児童虐待」防止の観点で、生活アンケートやスクリーニングシート(サポートブック)を実施し、児童の実態把握に努めた。日頃から、教職員間で些細なことでも情報共有をし、気になる言動が見られた時には丁寧に聞き取りをし、学校として体制を整え、早期に対応と共有ができるようにした。今後も、日常の学級経営、授業、行事の中で、全教職員が変わらず意識してすすめていく。</p> <p>・今年度の児童会テーマを、児童が「にこにこ」と設定し、みんなが学校生活が楽しみになるような学校づくりに向けて働きかけた。児童朝会や委員会が実施するイベント等で、学年を超えて関わり、互いを理解したり、上学年が下学年に優しく接したりする姿が多く見られた。今後も児童が主体的に活動できるよう支援していく。</p> <p>・学校の様子を保護者に伝えるために、学校・学級通信を通して、行事や授業等、学校生活についての発信をした。その結果、保護者アンケートでは、「学校・学年・学級だよりを発信したりして、開かれた学校づくりに努めている」という項目で、99%が「そう思う」「ややそう思う」と回答し、「学校の様子がよくわかった」というコメントもいただいた。来年度も目標とする学校生活の実現を目指し、その様子を積極的に情報発信していきたい。</p>
学校関係者評価結果	<p>児童・保護者アンケートの結果を見ると、おおむね良好である。登校時に中学生や上学年が低学年を気遣いながら歩いたり、休み時間に異学年で遊んでいたりする姿はほほえましく、学年を超えて仲の良い様子が伝わってくる。来年度も行事や日々の生活の中で、「自分を大切に、そして、他の人も大切に」する子の育成に努めてほしい。</p>
最終改善方策	<p>以下の3点について、課題等の改善に取り組む。</p> <p>○令和8年、9年度、県の人権教育研究指定校を受けることとなった。この機会を生かし、「自分を大切に、同じように、他の人も大切に」する子の育成を目指して、すべての教育活動に取り組むことを確認する。</p> <p>○教科担任制を推進し、これまで以上に様々な教職員が複数の目で、一人ひとりの児童と関わることで、いじめの未然防止・早期発見、早期対応に取り組む。</p> <p>○児童が児童会を中心に、自分たちで考え、想いを伝える「温かい学級・学年・学校づくり」に取り組めるよう支援する。</p>

本年度の重点	2	自分の思いを持ち、伝え合う子の育成
目標（評価規準）	<心と体の健康を大切に、がんばる>意識・態度の育成	
重点に係る現状 設定理由	本校の児童は、休み時間に外で遊んでいる児童は多いが、運動や体力向上への意識に差がある。また、何事にも素直に取り組もうとするが、最後までやり遂げようとする意志や向上心が強いとは言えない。家庭と連携した基本的生活習慣の確立を基本に、粘り強く取り組めるような場の設定、手立てを検討していきたい。実態に合った目標を設定し、成功体験を積み重ねることで、努力し続ける力の育成を図っていきたい。	

評価資料	評価
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	<p>・【健やかな体】「心と体の健康を大切に、がんばる子が育成されている。」という項目では、100%の教職員が、「そう思う」「ややそう思う」と評価しているため、重点を意識しての教育活動が行えていると思われる。</p> <p>・「保護者や地域の方の声や考えを聞きながら連携・協力をしている。」という項目では、96%の教職員が「そう思う」「ややそう思う」と評価している。家庭と連携した基本的生活習慣の確立と粘り強く取り組む子の育成をすすめたい。</p>
各アンケート等の結果	<p>・児童は、「学習や生活において、途中であきらめず、がんばろうとしている。」という項目には、90%が「そう思う」「ややそう思う」と回答しており、「あきらめず、がんばろうとする」意識が育っていると感じられる。</p> <p>・保護者アンケートでは、「心と体の健康を大切に、がんばる子が育成されている。」という項目には、約92%が「そう思う」「ややそう思う」と回答しているため、高く評価されている。</p>
自己評価結果 (見解と改善方策)	<p>・1年中、休み時間に広い校庭を存分に生かして元気に遊ぶ児童の姿が見られた。ただ、運動やスポーツに意欲的に取り組む児童と、教室の中にいることが多い児童との、運動に対する意欲の差はまだ大きい。また、鉄棒や縄跳び等、継続して取り組めば成果が出ることに對して、熱心に取り組む児童とできないとすぐにあきらめてしまう児童の差も大きい。次年度は、学校全体で「縄跳びチャレンジ週間」のように、場の設定や工夫をすることで、体育の学習を日常の活動とつなげ、運動を楽しもうとする意欲や姿勢を育成していきたい。</p> <p>・保護者会、コミコミスクール、土曜参観授業、個人面談等、保護者とつながる機会に、学校や家庭での児童の様子について共有することで、児童の基本的生活習慣の確立、「心と体の健康を大切に、がんばる子」の育成を、さらに進めていきたい。多くの保護者と情報共有できるように、保護者会に参加する人数を増やすための工夫もしていきたい。</p> <p>・数日間欠席が続く場合や欠席理由が気になる場合には、電話連絡や家庭訪問をして、状況の把握や対応に努めた。うまくいかないことがあると、欠席をするという事例が何件もあったので、児童に寄り添う対応をしながらも、家庭と連携して、困難なことを乗り越え、適応する力の育成を目指したい。また、次年度は、電話の音声応答時間が設定されるので、保護者と連携不足になることのないよう、マチコミメールの有効利用を継続し、児童の実態把握に努めていきたい。</p>
学校関係者評価結果	児童・保護者アンケートの結果を見ても、おおむね良好である。運動会では、どの学年も意欲的に取り組み、楽しんでいた。スマホやゲームの普及により、家では室内で過ごす子どもが増えており、保護者の生活スタイルや考え方が多様化しているが、今後も保護者との連携を深めて、児童の基本的生活習慣の確立等に取り組んでほしい。
最終改善方策	<p>以下の3点について、課題等の改善に取り組む。</p> <p>○『学校グランドデザイン』の意図することを全教職員が理解・共有し、「心と体の健康を大切に、がんばる子」の育成を目指して、休み時間等も含め、すべての教育活動で取り組むことを確認する。</p> <p>○学級・学校通信等を活用して、家庭と連携した基本的生活習慣の確立を目指す。</p> <p>○生活・学習・運動面において、「めあて」と「振り返り」を大切に、自分の目標を設定し、その達成に向けて粘り強く取り組む力を育成するとともに、自らの成長を実感できるようにしていく。</p>

本年度の重点	3	自分の思いを持ち、伝え合う子の育成
目標（評価規準）	<主体的に考え、学び合い、解決しようとする>意識・態度の育成	
重点に係る現状 設定理由	本校の児童は、やや主体性に欠け、「自分の思いを伝える力」が弱い。その背景には、基礎・基本の学習が習得が十分ではなく伝え方がわからない、よりよく伝えようという意識が高くないという実態がある。「初声小学校グランドデザイン」の中心となる資質・能力の育成の中の、「何を・どのように学び・何が身に付き・何ができるようになるか」を常に意識した授業を行うことで、目標の達成を図りたい。	

評価資料	評価
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	<p>・【資質・能力の育成】「主体的に考え、学び合い、解決しようとする子が育成されている。」という項目では、76%の教職員が、「そう思う」「ややそう思う」と評価している。しかし、24%の教職員が「あまり思わない」と回答していることは課題として捉えている。</p> <p>・「何を学ぶか～基礎・基本、見方・考え方、学び方～」の項目では96%、「どのように学ぶか～学習のめあてを意識し、学習する。自分の考えを持ち、伝え合うことで、さらに自分の考えを深める。～」の項目では88%、「何ができるようになるか～自分から好奇心・向上心を持って、学び続けることができる。学んだことを自分の生活や考えに生かすことができる。～」の項目では、96%の教職員が「そう思う」「ややそう思う」と評価している。</p> <p>・「何が身に付いたか～自分の学びの現状を把握し、主体的に課題解決に取り組むこと。学びを自分ごととして、捉えること。～」という項目では、約80%の教職員が、「そう思う」「ややそう思う」と回答している。</p>
各アンケート等の結果	<p>・学習についてのすべての項目について、「そう思う」「ややそう思う」と回答した児童が概ね90%を超えているので、児童が主体的に考え、解決しようとする授業が展開されていると考える。</p> <p>・保護者アンケートでは、「主体的に考え、学び合い、解決しようとする子が育成されている。」という項目では87%が「そう思う」「ややそう思う」と回答しているので、高く評価されている。ただ、「あまり思わない」「思わない」の回答が約13%であった、また、「授業中に先生や友達の話の聞いたり、相談したり、自分の考えを表現したりしている。」の項目も否定的な回答が15%あったことを課題ととらえ、取り組んでいく。</p>
自己評価結果 (見解と改善方策)	<p>・今年度の重点目標「自分の思いを持ち、伝え合う子の育成」を常に意識して、話し合い・学び合いを主体とする授業、「主体的に考え、学び合い、解決しようとする子の育成」を目指した授業や活動を行ってきた。その結果、課題に対して「自分の思いを持つ」「思いを伝えよう」とする児童は増え、積極的に取り組もうとする意識・態度は高まったように感じる。ただし、伝え方や相手の思いの受け止める姿勢が十分ではないため、今後は「伝え合う」ための場の設定や工夫をし、児童が伝え合うことの意義を感じられるようにしていきたい。</p> <p>・今年度も引き続き、学校研究の教科を「総合的な学習の時間」と「生活」とした。児童の実態を踏まえ、自ら意欲的に課題を見つけ、考え、主体的に判断し、課題を解決していくような単元の実践をしていくことを目標にしていたが、思うように展開ができなかった。児童が主体的に活動する時間の確保ができるよう、次年度は、早めに単元をスタートし、見通しを持ち、充実した探究活動が行えるような計画、支援を行っていききたい。</p> <p>・4月の全国学力・学習状況調査や市の学力調査の結果を分析し、各学年の学習面の課題を明確にした。その課題の解決につながるよう、『学校グランドデザイン』で目指す資質能力の育成を意識しながら、基礎学力の定着を目的としたモジュール学習や読書等に取り組んだ。今後も全教職員で児童の課題を共有し、互いの実践を紹介したり、授業を参観したりしながら授業改善を行っていく。</p> <p>・今年度のふりかえりをしっかり行った上で、引き続き『学校グランドデザイン』を軸に、自分たちが目指す方向を確認しながら進めていきたい。</p>
学校関係者評価結果	<p>児童・保護者アンケートの結果を見ても、おおむね良好である。授業参観を通して、ICTを活用したり、学び合いをしたりしながら児童が前向きに取り組んでいる様子がわかった。今後も、指導体制をさらに充実させ、複数の教職員の目で児童を指導・支援してほしい。</p>
最終改善方策	<p>以下の2点について、課題等の改善に取り組む。 ○『学校グランドデザイン』の意図することを全教職員が理解・共有し、「主体的に考え、学び合い、解決しようとする子」の育成を目指して、すべての教育活動に取り組むことを確認する。 ○重点目標である「自分の思いを持ち、伝え合う子の育成」は、来年度も継続して重点目標とすることで、さらにこのことを意識した授業を進めていく。</p>